



Thank you for
25th
anniversary

認定NPO法人
フリー・ザ・チルドレン・ジャパン



フリー・ザ・チルドレン・ジャパンは、多くのみなさまのご支援ご協力により創立25周年を迎えました。「世界は変えられる」子どもがそう信じられる社会の実現に向け、これからも進み続けてまいります。

25年を迎えて

11月8日に、公益財団法人博報堂教育財団「博報賞」を受賞し、日本工業倶楽部会館での表彰式に出席して参りました。

「博報賞」は、児童教育現場の活性化と支援を目的としてつくられた54年の歴史のある賞で、学校・団体・教育実践者の「波及効果が期待できる草の根的な活動と貢献」が顕彰されています。

25周年の記念すべき年に今までの活動が評価され受賞できたことは、この上ない喜びであると同時に、今後の活動に向けて身の引き締まる思いです。

昨年2023年は子どもの自殺者数が過去2番目の多さと報告され、これからの日本社会は、貧困や教育格差がさらに広がることが懸念されるなど、子どもを取り巻く環境に危機感を覚えています。同時に、子どもたちが、社会に対して効力感や、自己肯定感を培えるよう、様々な活動に取り組んでいる当団体の活動の意義は高まっていることを日々感じています。

この先の25年に向けて、ますます多くの子どもたちに出会い、その力を育てるために、スタッフの増員を含めた団体の基盤強化を計画しています。25周年を記念しての募金キャンペーンを実施しておりますので、どうぞご協力いただけますと幸いです。

25年間、活動が継続できたのも、みなさまの温かい励ましとご支援のお陰です。改めてお礼申し上げます。FTCJの活動に関わってくださった皆さま、本当にありがとうございます。これからも引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



代表 中島早苗



沿革

1999年、インターネット普及もままならない時代に、掲示板や電話、FAXを駆使して活動スタート。仲間がさらに仲間を集め、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンの活動の輪は日本中に広がっていきました。活動のモットーである「Gift+Issue=Change!」(自分のギフト、つまり好きなことや得意なことを活かして、社会問題に取り組むことで、変化を起こせる!という意味)をもとに、たくさんの子どもが勇気あるチェンジメーカーとして活動してきました。メンバー一人ひとりが主人公であり、一人ひとりのアクションがより良い世界を創り、この25年を作り上げることができました。



啓発プログラム

- 1999年 フィリピン・ブレダ基金創設者シェイ・カレン神父や子ども活動家ピアさんを招へいし日本各地で講演
- 2000年 フィリピンスタディツアー初開催
FTC創設者クレイグ少年(当時17歳)を招へい、保岡法務大臣(当時)との接見、講演会開催
- 2001年 インドスタディツアー初開催
夏キャンプ(現:テイク・アクション・キャンプ)を日本で初開催
- 2002年 クレイグとFTCJの子どもメンバーによる児童労働を廃絶するための合同記者会見
- 2004年 イタリアで開催された「児童労働世界子ども会議」にFTCJメンバー含む子ども3名が出席
- 2005年 スマトラ沖大地震の被災者支援としてカナダ大使館にてチャリティコンサート開催
- 2006年 ピアさんの子どもの権利活動家/フィリピン・ブレダ基金所属スタッフ)を招へい、講演会実施
- 2007年 麻生外務大臣(当時)に途上国の初等教育援助の拡充をお願いする嘆願書を提出
- 2008年 「アクションキッズ」開始
日加修好80周年記念
「MONKEY MAJIKチャリティーライブ」主催
- 2009年 チョコプロ(子どもによる寄付付き商品開発・販売チーム)開始
- 2010年 WE Day上映会とDewチャリティーライブ
- 2012年 ミシェル・チクワニネさん(元子ども兵士)招へい
日本各地で講演
- 2014年 子ども・ユースメンバー有志が「mini WE Day」(現:チェンジメーカー・フェス)を初開催
- 2018年 「東京グレートサンタラン」初開催(協力)
- 2020年 休校中の子どもたちのための無料オンライン講座シリーズ(FTCJ事務局主催版)開始
若者が政治家に対して声を上げるプログラムを開始
アクション応援助成事業
「We are the MOVEMENT」開始
テイク・アクション・キャンプ オンラインで初開催
- 2021年 チェンジメーカーフェス2021オンラインで初開催
- 2022年 子どもアンバサダーが小倉将信子ども政策担当大臣を訪問
- 2023年 ウェルビーイング事業開始
チェンジメーカー・フェス2023 初の会場開催
- 2024年 こども家庭庁より受託したこども意見ファシリテーター養成講座の教材を開発・同講座の講師を務める。

FREE THE CHILDREN

アメリカで中島がフリー・ザ・チルドレンを知る(1997年)

フリー・ザ・チルドレン・ジャパン設立(1999)

FTC創設者クレイグ・キール・パーガーが尾崎行雄記念財団「等堂賞」受賞(2002年)

東京都台東区内に事務所を開設
特定非営利活動法人の認証(東京都)を取得(2004年)

初のアルバイト職員を雇用
関西連絡所開設(2005年)

代表中島が国際ノボチミストより「青少年指導者育成賞」受賞(2007年)

初の専従の有給職員を雇用(2008年)

事務局を東京都世田谷区に移転(2011年)

認定NPO法人の認証(国税局)を取得(2012年)

フィリピン盲学校支援のクラウドファンディングがReadyFor賞を受賞(2017年)

JANIC「NGO組織強化大賞2017(女性スタッフの登用・活躍部門)」を受賞(2018年)

「SCARE HUNGERアクションキット(フードドライブ)」が消費者教育教材資料表彰2023 優秀賞受賞(2023年)

博報堂教育財団「博報賞」受賞

職員7名、業務委託6名とインターンとボランティア多数で活動中(2024年)

支援プログラム

- 1999年 フィリピン・ブレダ基金を視察、支援開始
- 2000年 フィリピン・ブレダ基金の子どもたちのためのジプニー購入緊急支援開始(インド・西ベンガル地方洪水被害)
- 2002年 フィリピン・TATAG(タタグ)支援開始
フィリピン・ギリヤドセンター支援開始
「アジアの会」を通じモンゴルの子どもも支援
アルゼンチンの子ども支援センターへの支援
FTCカナダを通じたシエラレオネ支援
- 2004年 カンボジア・HCCの支援
- 2006年 フィリピン・ミンダナオ島での視察、支援開始
- 2007年 モンゴルの支援活動開始
- 2008年 モンゴル・ゲル図書館設置、運営開始
- 2009年 モンゴルの子どもたちと文通プログラム開始
インド・ラジャスタン州の貧困農村地域で学校建設など子どもへの支援開始
- 2011年 ミンダナオ島先住民族コミュニティ自立支援開始
ミンダナオの先住民族の子どもたちとの文通プログラム開始
東日本大震災緊急支援の実施(相馬市、南相馬市)復興支援の開始
- 2013年 FTCカナダを通じてケニア支援開始
フィリピン・ソロン島の先住民族アエタ族コミュニティへの水支援と虐待を受けた子どもへの教育支援開始
- 2016年 フィリピン障害者支援事業の開始
熊本地震緊急復興支援の実施
- 2018年 フィリピンから視覚障害者の高校生5人を招へい
- 2019年 有志メンバーがフィリピン・ミンダナオ島の小学校修繕に向けたクラウドファンディングREADYFORで実施
- 2020年 海外支援事業地にて新型コロナウイルス緊急支援開始
テイク・アクション・キャンプへのスカラシップ(参加費免除)制度開始
- 2021年 コロナ緊急支援として、日本国内で経済的に困難な世帯に支援金を贈る「FTCJ入学・進級応援金」事業開始
- 2022年 フィリピンのスラム街で火災により家を失った子どもたちへの食糧・生活物資提供のための緊急資金支援を実施
ロシア・ウクライナ戦争でポーランドへ逃れたウクライナの難民に対する緊急支援を、現地NGO団体への資金寄付を通じて実施



4回目の開催となる今年は「TAKE ACTION FOR PEACE～平和をつくる私のアクション～」をテーマに、小学生から社会人まで25歳以下のチェンジメーカー約500人が一堂に集結しました。



「LASTING PEACE SONG」を歌う特別企画では、AIさんのソウルフルな歌声と子どもたちの美しいハーモニーが会場を包み込みました。



元少年兵 ミシェルのスピーチも

CHANGE MAKERS FES 2024開催

(写真 左上、右上、横)

SDG₅ 達成に向けたソーシャルアクションを起こした 25歳以下の子ども・若者を無料で招待するライブイベントをZEPP HANEDA (TOKYO)で開催。活動家や著名人と一緒にこれまでのアクションや成果を祝い、互いのこれからの活動にエールを送りました。特別企画ではAIさんと「LASTING PEACE SONG」をともに歌い、平和を願う気持ちとよりよい未来への熱い思いがあふれました。

25周年記念トークイベント実施

(写真 下左、下右)

2024年1月に実施したフリー・ザ・チルドレン創設者クレイグとの対談を皮切りに、6月にはソニーグループ(株) シニアアドバイザー/(社)プロジェクト希望の平井一夫氏と代表中島のトークイベントを実施し、オンライン&会場合わせてたくさんの方々にご参加いただきました。



ソニー元社長で現プロジェクト希望代表の平井氏と中島が、なぜ子どもたちをサポートするのか、今の日本に求められる教育支援の在り方について語り合いました。



FTCJの活動が自律的な学習者を育成することにつながり波及効果、応用が期待できる点が評価され、博報賞を受賞しました。

2024年度は90か所7,021名に出前授業・講演会を行いました。

(12/2現在)



生徒たちも楽しく講義に参加していました。ブロックゲームで予想以上の盛り上がり、こちらも驚きました。楽しみながら学べる、とても素敵な機会となりました。

ご依頼いただいた先生の声



出張授業・チェンジメーカー教育プログラム (写真 左上、右上)

全国の学校やイベントで出前授業や講演会を対面・オンラインで実施しました。ウェルビーイングについて考える授業や教材開発にも取り組み、ウェルビーイングのビデオ・ワークシート・指導案をセットとした教材の公開に向け準備を進めています。

子ども家庭庁から受託子どもの意見聴取に関する教材を作成 自治体向け講座実施 (写真 下左、下右、右横)

子ども家庭庁から委託を受け、子どもの意見聴取の場面やアイスブレイクを再現したものを収めたテキストや動画教材を開発・作成しました。自治体向け講座として子どもの意見を聴くファシリテーション講座を実施。北海道から九州地方まで全国の自治体から実施依頼やご相談をいただいております。



子どもの権利についてFTCJオリジナルワーク子ども権利条約カードゲームで学び、世界の動きや国内の子どもの基本法などについて解説。ファシリテーションの基本姿勢についての説明を受けたのち、傾聴のためのコミュニケーションスキルの練習や質問の種類を使い分ける練習、グループで会話をするための練習など、様々なスキルについて実践し、フィードバックを交えながら学んでいきました。



子どもの権利についての講座や、子どもの意見を聴くファシリテーター養成講座にご関心がある皆さま、お気軽にお問い合わせください。



2024年8月に高校生2名による川崎市教育委員会へ子どもの権利に関する提言活動のサポートを行いました。

MOVEMENT
We are the
Powered by FREE THE CHILDREN JAPAN

子どもや若者自身がソーシャルアクションを開催するプロジェクト。公募により選ばれたアクションは、立案者自身が企画・主催するまで、スタッフの伴走支援と資金助成を受けることができます。2020年から始まり、これまでに28組のグループがそれぞれの興味関心のある社会問題に関するアクションを起こしています。



2024年2月に中高生による能登半島地震街頭募金活動のサポートを行いました。

WE ARE THE MOVEMENT (写真 左上、右上、横)

立案者自身が企画・主催をし、本プロジェクトの一環として、大東建託グループみらい基金の助成、認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパンの伴走支援のもと実施しています。今年度はリーダーシップ養成イベント、街頭募金、川崎市に子どもの権利について提言を行うなどそれぞれの興味関心に合わせ活動を行いました。

チョコレートプロジェクト (写真 下左)

チョコレートプロジェクト2023-24のメンバーがインドの教育支援のための寄付を集めるフェアトレードチョコレート『KHUSHEE(クシ)』を企画・販売しました。メンバーは中学生～大学生20名。全国各地からあつまり価格設定や商品名、寄付先の決定、パッケージの絵や裏面のメッセージ作成を行い、学校やイベントで販売を行い合計778個販売することができました。



メンバーの一声



このプロジェクトを通して、企画を成功させることの難しさや楽しさを学びました。また、私達が販売を行うことでフェアトレードという活動を広めることに、少しでも貢献することができたら嬉しいです。今後も、この活動を行っていききたいなと思いました！



毎年恒例/
テイク・アクション・キャンプ

2024年夏は全国各地から50人が集まり、過去最大の人数が集まりました！



完成した生徒用の新トイレ フィリピン ミンダナオ島



地域住民がボランティアで作業に参加
フィリピン ミンダナオ島



フィリピンスタディーツアー

2024年は春と夏の2回開催！春は18名、夏は17名のメンバーとスタディーツアーを満喫しました。

フィリピン・ミンダナオ島の先住民族の小学校にトイレができました！ (写真 左上、右上)

フィリピンのパートナー団体KPACIOを通じて南部ミンダナオ島の山間に住む先住民族の村にある小学校のトイレが壊れて使えない状況であることがわかり、授業の出席率や進行にも影響がでていることから新しいトイレの建設を行いました。

ケニア キサルニ中等学校にて卒業式が行われました。(写真 左下)

現地パートナー「WE CHARITY FOUNDATION」を通じて、教育支援を行なっているキサルニ中等学校(9学年~12学年)で卒業式が執り行われました。卒業生たちはお互い称えあい、卒業を祝いあいました。彼らはこれからWE CHARITY FOUNDATIONが現地で開催した大学LEGACY COLLEGEに入学し、さらなる専門知識を磨き自分たちのコミュニティの発展へと貢献したいとのことでした。



国内子ども支援

2011年から始まった国内の困難な状況にある子ども支援。2024年は入学・進級応援金を80世帯(240人以上の子どもたち)に支援し、テイク・アクション・キャンプの参加費助成制度(スカラシップ)では16名への支援を行いました。



卒業生のメッセージ



私はキサルニ中等学校に入学して生徒として学ぶことができたこの経験は、これまでの人生で最高の出来事でした。自分を表現する多くの機会があったからです。例えば、キサルニ校の理念の一つは、リーダーシップを育むというものですが、私は生徒会長として学んだことを活かしました。



メンバー
山浦未陽(26)

高校時代にFTCJで学んだ大切なことは、人生のさまざまな選択の時にいつも私の背中を押してくれていると思います。そしてFTCJで出会った友人たちがそれぞれ自分の人生を歩む姿にいつも勇気をもらっています。



スタッフ
出野恵子

人生の半分以上、多くの仲間に恵まれながらFTCJで過ごしています。世の中を良くしたいと熱い思いを持った人とたくさん出会い刺激を頂き、FTCJで得た経験や知識を伝えることができ幸せだなと思っています。これからもたくさんのきっかけを生み出す仕事をしていきたいです。



メンバー
西川ひかる(27)

一歩踏み出すだけで、家族や学校以外の広い世界を一気に知ることが出来ることをFTCJに参加して気づくことができました。これからも一人一人出来ることを一生懸命やっていってください。応援しています。私も頑張ります！

チェンジメーカーの仲間たちからのメッセージ

Messages from Change Makers



かず(西郷和将)(35)

アクションを起こすことに迷いのあるみなさんへ・・・自分の好きなことや興味あることに対して、自分がやりたい通りに突き進み、自分の身の周りの人達を大事にしてほしいです。自分が経験したことは何ひとつ無駄なことなんてないし、縁をつくっていくことが今だけでなく、将来にも繋がっていくと思います！



FTCJアンバサダー
(14期2024年)
刈屋彩乃(17)

小学校5年生で児童労働に興味を持ち始めFTCJで活動するようになりました。誰かのためにした小さなことは自分に大きな幸せを届けてくれます。これからもFTCJのみんなと子どもの挑戦を応援できる活動を創り上げていきたいです！



メンバー
三本木絵未(37)

15歳からの4年間、FTCJの活動に携わらせていただきました。全国の同世代の活動家のみんなとの出会いが、自分の世界を大きく広げてくれました。また、カッコいい生き方を見せてくれたおとなのサポーターの皆様にも感謝しています。途上国の子どもたちのためにと思って始めた活動でしたが、一番パワーをもらったのは自分自身でした。



スタッフ
広瀬大智

おとなになってからFTCJに出会った私は、ここで「何歳からでもチェンジメーカーになれるんだ!」と知りました。子どももおとなも、早いも遅いも関係ない! やりたいと思った時に自分にできることができる。それを応援してくれる仲間がいる。そんなFTCJの良さを広めていけるようにこれからも頑張りたいです!



メンバー
指原佑佳(22)

10代の皆さんへ・・・年齢や遠さに関係なく世界のためにできることがあると、この時期から知れるのは素晴らしいことだと思います。私は周りを気にして十分に行動できなかったことを後悔しています。なので、皆さんは仲間を頼りながらいろいろと挑戦できるといいなと思います。それをおとなとしてしっかりと応援します。



スタッフ
菅原萌子

子ども若者を応援する役割でありながら、同時に私自身も、FTCJを通して出会う子ども・若者・おとなのみなさんから日々エンパワーされています。それぞれを受け入れ、力を与えあえるポジティブな循環がFTCJにはあると思います。FTCJの仲間たち、そしてまだ見ぬみなさんと出会うことを楽しみに、これからも共に行動していきたいです!



メンバー
伊藤滯里(21)

学校では教わらない他国の社会問題についての知識はもちろん、活動を通じて出会った、能動的に生きているおとなや他の学生の姿に憧れました。自分が今まで他人任せに生きていたことを恥ずかしく思うと同時に、「自分にも誰かのためにできることがあるだろうか」と考えるようになったのが、一番大切な学びです。



FTCJ子どもアンバサダー
(13期2024年)
尾田心莉(中学生)

アクションを起こしたくてもできない! そんなときがあっても世界を変えようとしているだけで、すでに変わっています! 私たちと一緒にポジティブな未来を作りませんか?



FTCJ子どもアンバサダー
(13期2024年)
高木萌伽(高校生)

イベントでFTCJ子どもアンバサダーの方のお話を聞いて、こんな素敵な仲間たちと一緒に活動したいと思ってアンバサダーになりました。「子どもでも世界を変えられる」一緒にあなたの世界をもっとよりよいものにしていきましょう!



メンバー みき(38)

子ども主体で活動していることがFTCJの大きな強みです。当事者である子どもたちの声や考えを大切に、これからも頑張りたいと思います。応援しています!



FTCJ子どもアンバサダー
(13期2024年)
鈴木紗蘭(中学生)

FTCJに入ってから自分だけじゃなくて世界を変えたいという願いがある仲間に出会えたから、自分だけじゃなくて仲間と一緒に世界は変えられるという考えに変わりました。

※FTCJ子どもアンバサダーとは：国内外の社会問題を「自分ゴト」としてとらえ、一人ひとりがアクションを起こすムーブメントを広める存在。毎年募集しており2024年は31名が参加しました。

日本と世界の子どもたちを
一緒に支えてください。

25周年記念 寄付プロジェクト ご協力をお願い



子どもの力を育てる
パートナーとして、私たちとともに
歩んでいただけませんか。

子どもに寄り添い、子どもの声を聴き、
子ども自身が主体的に声をあげられるように
サポートをして25年。

その活動を通じて確信していることがあります。

それは「子どもは、未来だけではなく、
今日のリーダーである」ということです。

一人ひとりの子どもは、社会の大切な一員で
あり、変化を起こす力さえも持っています。

国内の、そして世界の子どもをエンパワーし、
力を育てるために、どうか力を貸してください。

新規サポーター

100名
募集!

継続的にフリー・ザ・チルドレン・ジャパンの活動を応援!

キッズパワーサポーター

毎月または毎年の継続的なご寄付で、海外の貧困地域の子どもたちやその地域の自立を応援する活動、日本の子どもたちの力を伸ばす事業を支援することができます。

月々500円～任意の寄付額を、クレジットカード（毎月/毎年）または自動引き落とし（3カ月毎/毎年）でご寄付いただけます。

お申込み詳細は右記QRコードまたはFTCJで検索の上団体ウェブサイトをご覧ください。



国内の子どもたちの学びを応援!

入学・進級支援 5,000円を寄付

国内支援活動として、様々な困難な状況にある子どもたちや親御さんを応援しています。様々な理由で家計が厳しい状況にある世帯のお子さんの新学期の準備の応援金の提供や、イベントの参加費の補助を行います。



より良い暮らしづくりを応援!

生活に役立つヤギ2頭 10,000円を寄付

ヤギはとても暮らしに役立つ貴重な動物。労働に使えたり、主な栄養源であるミルクをとることができます。オスとメスのペアで買うことで繁殖を促しさらに収入を支えることができます。
※ヤギの購入及び収入向上支援事業に用途致します。



日本の子どもたちに 世界を知るきっかけに 50,000円を寄付

50,000円で約200人の子どもたちに、世界を知るきっかけを提供することができます。団体設立者であるクレイグ少年の話から始まり、アクションの起こし方など子どもたちが『世界はかえられる』そう思える世界を創る入り口となる授業を行います。



Together We can change the world

25th
anniversary

**FREE THE
CHILDREN**

認定NPO法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

〒157-0062東京都世田谷区南烏山6-6-5 3F

03-6321-8948 info@ftcj.org